

はじめに

昨年夏、新型コロナウイルス感染拡大のため延期されていた「東京オリンピック・パラリンピック2020」が、万全の感染防止対策を講じた上で無事開催されました。「多様性と調和」を理念の一つに掲げた本大会では、競技後に、国籍だけでなく、性別、性的指向、障害の有無といったあらゆる課題を乗り越えて、選手同士がお互いの健闘をたたえ合う姿を見ることができました。子供たちが社会に出る頃には、今以上に多様性が重んじられる時代となっていることでしょう。未来を生きる子供たちには「東京オリンピック・パラリンピック2020」の選手たちのように、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、自分のよさや可能性を信じて挑戦し続け、豊かな人生を築き上げることを願っています。

幼稚園教育要領及び小・中学校学習指導要領においては、それぞれの園・学校で、どのような資質・能力を身に付けるのかが示され、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図ることが求められています。また、1人1台端末や高速大容量ネットワークが整備され、ICTの効果的な活用方法に関する研究の推進や教職員のICTを活用した指導力の向上も期待されています。教員は、こうした期待に応えられるよう、今後ますます学校教育の充実に向けて邁進していかなければいけません。

教育基本法第9条には「法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない」と述べられています。「教える」という崇高な使命を担うためには、教職員一人一人が、自らの人としての在り方を問い続けながら、心身ともに健康で教育の専門家としての力量を高めるための研さんを重ね、高い見識と情熱をもって、創意工夫に富んだ魅力ある教育活動を展開していくことが重要です。

本書は、教員が学校教育の充実に向けて邁進できるよう、研修の具体的、実践的な手だてをまとめたものです。ぜひ、幅広く活用していただき、充実した教育実践が重ねられますことを心から期待しております。

令和4年3月

愛知県教育委員会教育長

長谷川 洋